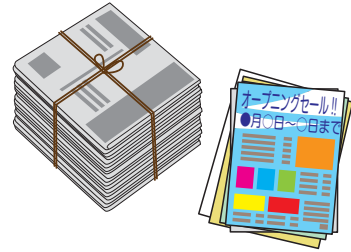


リサイクル

資源化(リサイクル)可能な紙

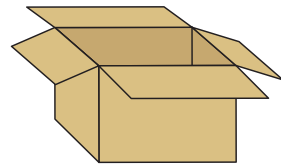
①新聞

折込広告含む



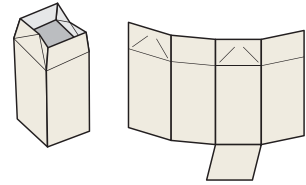
②段ボール

粘着テープ・カーボン紙(宅配伝票など)をはがしてください。



③紙パック

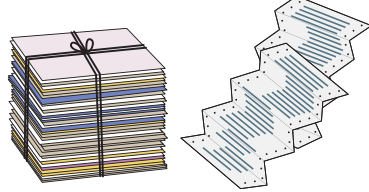
紙パックマークのあるもの



④OA紙

コピー用紙、コンピュータ用紙

※機密書類も含む。



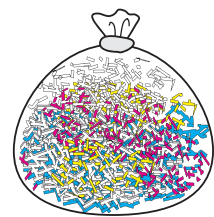
⑤雑誌

週刊誌、漫画本、専門誌、単行本、カタログ、教科書、パンフレット、辞典



⑥シュレッダー紙

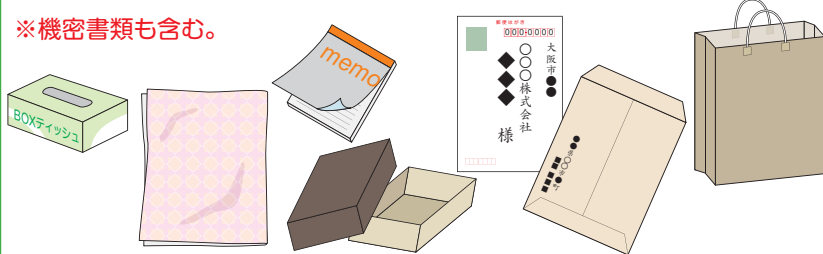
※機密書類も含む。



⑦その他の紙

包装紙、菓子やティッシュの空箱、メモ用紙、ハガキ、封筒(粘着物がある場合取り除いてください)、紙袋、名刺

※機密書類も含む。



許可業者が再生資源事業者(リサイクル事業者)へ委託しリサイクルしてください。  
本市の焼却工場へは搬入できません。(平成25年10月1日以降)

禁忌品とは「製紙原料にならない異物」のことです。古紙の再生の妨げとなりますので分別して処理してください。

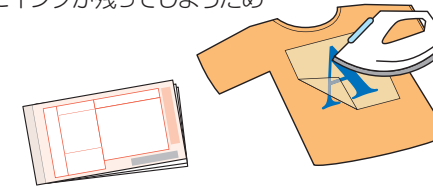
このマークがついていても、水に溶けない等の理由から以下の紙はリサイクルできませんのでごみとして処理してください。

リサイクル

リサイクルに向かない紙

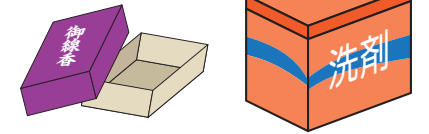
捺染紙・アイロンプリント紙、昇華転写紙

絵柄などを布地に加熱してプリントする際に使われる紙、複写用紙、カーボン紙、ノンカーボン紙。インクが強くしみこんでおり、再生品にインクが残ってしまうため



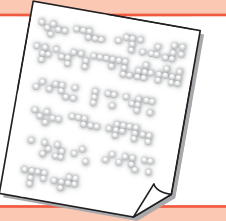
においのついた紙

洗剤や線香の紙箱、石鹸の包装紙、芳香紙など。再生品ににおいが残ってしまうため



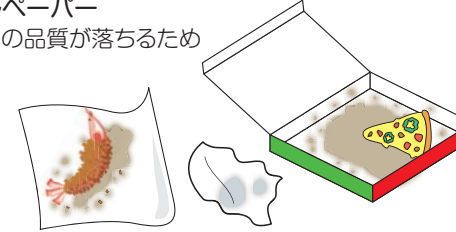
感熱発泡紙

点字などに使用する。加熱すると盛り上がる紙。突起部分にコーティングされているものが多いため



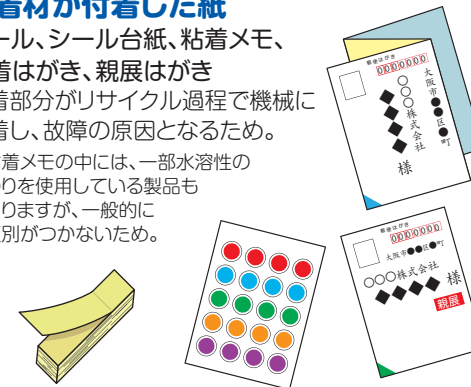
汚れた紙

油のついた紙、使い終わったティッシュペーパーやタオルペーパー。再生品の品質が落ちるため



粘着材が付着した紙

シール、シール台紙、粘着メモ、圧着はがき、親展はがき。粘着部分がリサイクル過程で機械に付着し、故障の原因となるため。  
※粘着メモの中には、一部水溶性ののりを使用している製品もありますが、一般的に区別がつかないため。



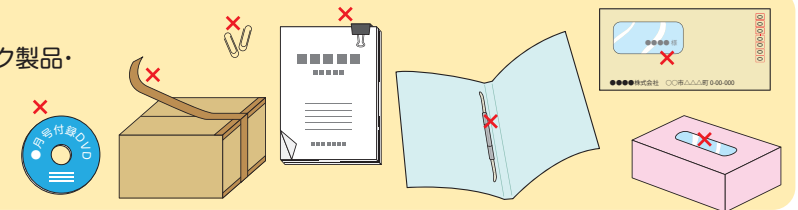
水に溶けない紙

○写真、写真プリント用紙  
○紙コップ、ヨーグルトやカップ麺の容器等の防水加工紙  
○合成紙  
○アルミ、金紙、銀紙、ビニールでコーティングされた紙  
古紙をリサイクルするには、水に溶かす必要があるため



紙以外の素材

粘着テープ類・金属類(ファイルの金具)・プラスチック製品・ティッシュ取り出し口(ビニール)部分・窓枠封筒の窓(リサイクル可の表記がないもの)・雑誌の付録(DVD等)・ビニール製の表紙等



分別時のポイント

- 段ボールは粘着テープ・カーボン紙(宅配伝票など)をはがしてください。アルミでコーティングされた段ボールは禁忌品。
- レシートはこすって確認。黒くなったら感熱紙(禁忌品)。
- 光沢のある紙は、端をちぎって確認。断面にビニールが見えたらコーティング紙(禁忌品)。
- 効率の良いリサイクルのために紙以外の素材は取り除いてください。